



©khara

Super Taikyu Series 2021 Round 2

SUGO Super Taikyu 3Hours Race RACE REPORT



スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook 第 2 戦 SUGO スーパー耐久 3 時間レース

2021/4/17-18

スポーツランド SUGO (1 周 3.737km)

Audi Team AS Sport

#505 エヴァ RT 初号機 Audi R8 LMS GT4(ST-Z)

予選：クラス 8 位 (14 台中)

決勝：リタイア



2021 年スーパー耐久シリーズ 第 2 戦「SUGO スーパー耐久 3 時間レース」が 4 月 17 日～ 18 日に宮城県スポーツランド SUGO にて行われました。

予選日は雨が降ったものの、決勝日は晴天の中スタートを切りました。8 番グリッドからスタートした #505 エヴァ RT 初号機 Audi R8 LMS GT4 は 6 位までポジションアップする事に成功。その後もトップグループと変わらない好ペースで走行していましたが、ルーティーンピットの直前に周回遅れのマシンと接触。なんとかピットに戻り修復を試みるもダメージは深くまで及んでおり、苦渋の選択ながらチームはリタイア届を提出しレースを終える事になりました。

[予選レポート]

4月17日(土)SUGO スーパー耐久 3時間レースの予選が行われた。Audi R8 LMS GT4 は SUGO のコースレイアウトとの相性も良く、チームは前日までのフリー走行で順調にセットアップを進めてきた。予選はウェットコンディションとなり、まずは A ドライバーの西村選手がコースイン。1分41秒台を連発し、最終的に1分41秒558 がベストタイムとなった。続いて B ドライバー予選では Shaun 選手がコースイン。しかし最初に装着したタイヤのフィーリングが好ましくなく、途中タイヤ交換を行った。交換後、1分38秒722 をマークするものの満足にアタックするには不十分な時間しかなくセッション終了。まだ更なるタイムアップが望めただけに不完全燃焼の予選になった。続く C ドライバー予選では岡本選手、D ドライバー予選では田ヶ原選手がステアリングを握り決勝に向けてのマシンの確認を行った。最終的に A ドライバーと B ドライバーの合算タイムにより割り出された予選結果はクラス 14 台中 8 位となった。予選後もチームは翌日の決勝レースに向けて準備を整えた。





[決勝レポート]

4月18日(日)決勝日は朝から晴天となりレース日和となった。決勝は8番グリッドからスタートした Shaun 選手がオープニングラップからポジションを上げる事に成功。さらに4周目には更にポジションを上げて6番手に浮上。更にラップタイムもトップグループと遜色ないペースであり、高い競争力を見せながら周回を重ねていく。

しかし13周目にマシンに一時的に電気トラブルが発生しペースダウン。直ぐに問題は解決し、ペースを元に戻しロスは最小限に抑えた。その後も素晴らしい周回を重ねた Shaun 選手はドライバーチェンジの為ピットインしようとしたその周に、周回遅れのマシンと接触をしてしまう。ダメージを負いながらもなんとかピットへ帰還し、ダメージ箇所をチェックするも、このまま応急処置程度ではレースを続ける事は出来ない状態であった。ピットガレージ内へマシンを入れて修復を図る。メカニックの懸命な働きによりスピーディーにパーツを交換していくも、ダメージはかなり深刻でありレースの残り時間中に安全を確保してコースに送りかえすことは不可能と判断せざるを得なかった。

チームは苦渋の選択ながらリタイヤ届を提出する事になり、Rd.2 SUGO を終えた。

競争力がありながら接触によりレースを終えてしまった事は非常に残念ではあるが、随所で魅せた速さを武器に次戦富士 24 時間レースで結果を残すべく、チーム一丸となり準備を整える。



[チーム代表コメント] 田ヶ原章蔵

開幕戦から確実に手ごたえを感じとって予選も狙える位置まで来ている中で、残念ながらレースは惜しくも他車との接触によりリタイアになってしまいました。しかしラップタイムもトップグループに匹敵する収穫もあり、次戦の富士24時間の長丁場ではチャンスはあると思います。応援が本当に力になります、引き続き皆さんの熱い応援宜しくお願い申し上げます！



[チーム監督コメント] 澤田栄宏

ドライバー、メカニックの尽力で徐々にセットが決まってきた中で挑んだ SUGO 戦久しぶりに天候にも恵まれた決勝レースではありましたが接触によりリタイアとなってしまいました。次戦の24時間レースは長丁場になりますのでトラブルやペナルティの無いようにレースに挑み、チーム一丸となって戦って参ります。引き続きご声援よろしくお祈りします。



[A ドライバーコメント] 西村元希

今回の菅生は、過去最高のリザルトを残せる可能性が十分にあったので、決勝レース序盤でのリタイアは非常に残念でした。自分自身も、決勝レースは走行出来なくて悔しい思いをしましたが、チームとしては、レースウィークを通して、マシンセッティングの改善も進み戦闘力も上がってきたと思うので、気持ちを切り替えて、次戦の富士24時間耐久レースに挑もうと思います。



[B ドライバーコメント] Shaun Thong

我々のもてぎからマシンをさらに改良し、競争力を高めました。チームのモチベーションも高まり、各レースに向けて一緒に努力出来ている事をとてもうれしく思います。

週末通して初めてのウェットコンディションとなった予選は理想的ではありませんでした。しかし、レース中、特にロングランではクルマのパフォーマンスが向上すると確信していました。

残念ながら決勝レース中、電気的なトラブルにあっけしき、6位から最後尾まで落ちました。ゆっくりとペースを上げて回復しましたが、その後バックマーカーの事故に巻き込まれ、DNFとなってしまいました。

DNF を別とすれば、全体的に素晴らしい流れの週末だったと思います。富士24時間に繋がるペースを見せる事が出来たので、チーム一丸となって富士24時間レースで最高のフィニッシュを目指します。

